

<p>1. $\triangle OAB$ に対し、$\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$ (s, t は実数) とする。s, t が次の条件を満たしながら変化するとき、点 P の描く図形を図示せよ。</p> <div><div>(1) $s+t=3, s\geq 0, t\geq 0$</div><div>(2) $s+t\leq \frac{1}{3}, s\geq 0, t\geq 0$</div><div>(3) $5s+2t=3$</div><div>(4) $0\leq s\leq 1, 0\leq t\leq 1$</div></div>	<p>2. 次の不等式を満たす領域を図示せよ。</p> <div><div>(1) $x+y=3, x\geq 0, y\geq 0$</div><div>(2) $x+y\leq \frac{1}{3}, x\geq 0, y\geq 0$</div><div>(3) $5x+2y=3$</div><div>(4) $0\leq x\leq 1, 0\leq y\leq 1$</div></div>	<p>3. 次の直線の方程式を求めよ。</p> <div><div>(1) 点 A (−1, 2)を通り、ベクトル $\vec{d}=(2, -3)$ に平行な直線</div><div>(2) 点 A (4, 6)を通り、ベクトル $\vec{n}=(3, -4)$ に垂直な直線</div></div>
		<p>4. 円 $(x-2)^2+(y-3)^2=25$ 上の点 (5, 7) における接線の方程式を求めよ。</p>

5. 2点 (3, 4), (5, −2) を直径の両端とする円の方程式を求めよ。

6. 点 (3, 1) を通り, 円 $x^2+y^2=2$ に接する直線の方程式を求めよ。

7. $x^2-7y^2+6xy-12x-4y+20$ を因数分解せよ。

8. $AB=5, BC=6, CA=7$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}, \overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき, \overrightarrow{AI} を \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。

9. $\triangle OAB$ において, 点 O から辺 AB へ垂線 OH を下ろす。 $OA=3, OB=2, \angle AOB=60^\circ$ であるとき, $AH:HB$ を求めよ。

10. $OA=3, OB=2, \angle AOB=60^\circ$ である $\triangle OAB$ において, その外心を P とする。 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}, \overrightarrow{OB}=\vec{b}$ とするとき, \overrightarrow{OP} を \vec{a}, \vec{b} を用いて表せ。

11. 点 $P(4, 5)$ から直線 $\ell : x+2y=12$ に垂線を引き、その交点を H とする。
- (1) ベクトルを用いて、点 H の座標を求めよ。
 - (2) 点 P と直線 ℓ の距離を求めよ。

12. 次の2直線のなす鋭角を求めよ。 $x-2y+4=0, 3x-y-3=0$

13. 正六角形 $ABCDEF$ において、辺 AB, BC, CD, DE, EF, FA の中点をそれぞれ P, Q, R, S, T, U とする。 $\triangle PRT$ の重心と $\triangle QSU$ の重心は一致することを証明せよ。

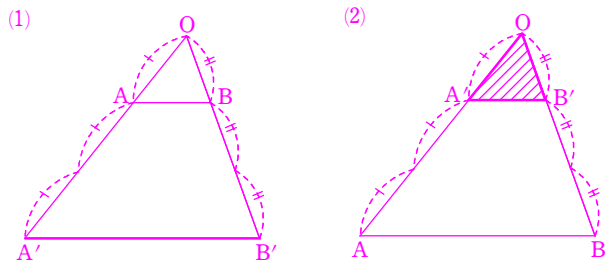
14. $\triangle ABC$ において、辺 AB を $3:1$ に内分する点を D 、辺 AC を $2:3$ に内分する点を E とし、線分 BE と線分 CD の交点を P とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}, \overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき、 \overrightarrow{AP} を \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。（2通りの方法で解くこと）

15. $\triangle ABC$ と点 P について、等式 $2\overrightarrow{PA}+3\overrightarrow{PB}+4\overrightarrow{PC}=\vec{0}$ が成り立っている。直線 AP と辺 BC の交点を D とするとき、次のものを求めよ。（2通りの方法で解くこと）
(1) $BD:DC$
(2) $AP:PD$
(3) $\triangle PBC:\triangle PCA:\triangle PAB$
16. $\triangle OAB$ において、辺 OA を $2:3$ に内分する点を C 、線分 BC を $2:1$ に内分する点を D とし、直線 OD と辺 AB の交点を E とする。このとき、 $OD:DE$ を求めよ。（2通りの方法で解くこと）
17. $AB=1$ 、 $AC=2$ である $\triangle ABC$ がある。辺 BC を $2:1$ に内分する点を P 、線分 AP を $2:3$ に内分する点を Q とすると、 $\overrightarrow{BQ}=\text{ア}\overrightarrow{AB}+\text{イ}\overrightarrow{AC}$ である。
更に、 \overrightarrow{BQ} 、 \overrightarrow{AP} が直交するとき、 $\overrightarrow{AB}\cdot\overrightarrow{AC}=\text{ウ}\overrightarrow{\hspace{1cm}}$ となり、 $\cos\angle BAC=\text{エ}\overrightarrow{\hspace{1cm}}$ である。

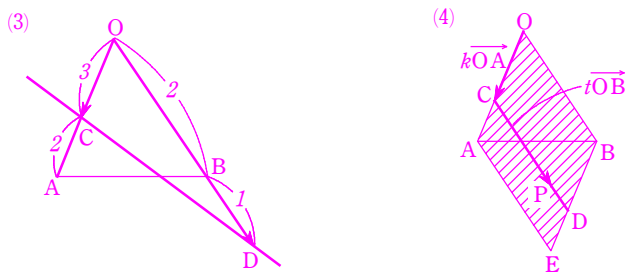
1. $\triangle OAB$ に対し、 $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$ (s, t は実数) とする。 s, t が次の条件を満たしながら変化するとき、点 P の描く図形を図示せよ。

- (1) $s+t=3, s\geq 0, t\geq 0$
- (2) $s+t\leq \frac{1}{3}, s\geq 0, t\geq 0$
- (3) $5s+2t=3$
- (4) $0\leq s\leq 1, 0\leq t\leq 1$

【解答】 (1)、(2) [図] (2) は境界線を含む



(3) [図] 直線 CD (4) [図] 斜線部分。境界線を含む



(1) $s+t=3$ から $\frac{s}{3}+\frac{t}{3}=1$

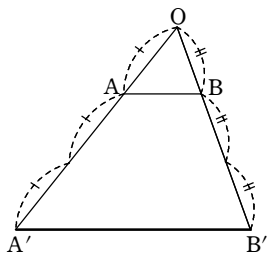
$$\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}=\frac{s}{3}(3\overrightarrow{OA})+\frac{t}{3}(3\overrightarrow{OB})$$

ここで、 $\frac{s}{3}=s', \frac{t}{3}=t', 3\overrightarrow{OA}=\overrightarrow{OA'}$,

$3\overrightarrow{OB}=\overrightarrow{OB'}$ とおくと

$$\overrightarrow{OP}=s'\overrightarrow{OA'}+t'\overrightarrow{OB'}, s'+t'=1, s'\geq 0, t'\geq 0$$

よって、点 P が描く図形は線分 $A'B'$ [図]



(2) $s+t\leq \frac{1}{3}$ から $3s+3t\leq 1$

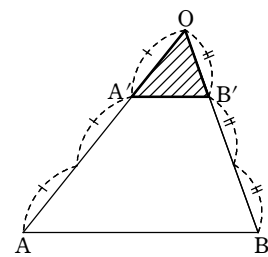
$$\begin{aligned}\overrightarrow{OP}&=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB} \\ &=3s\left(\frac{1}{3}\overrightarrow{OA}\right)+3t\left(\frac{1}{3}\overrightarrow{OB}\right)\end{aligned}$$

ここで、 $3s=s', 3t=t', \frac{1}{3}\overrightarrow{OA}=\overrightarrow{OA'}$,

$\frac{1}{3}\overrightarrow{OB}=\overrightarrow{OB'}$ とおくと

$$\overrightarrow{OP}=s'\overrightarrow{OA'}+t'\overrightarrow{OB'}, s'+t'\leq 1, s'\geq 0, t'\geq 0$$

よって、点 P が描く図形は $\triangle OA'B'$ の周および内部 [図]



(3) $5s+2t=3$ から $\frac{5}{3}s+\frac{2}{3}t=1$

また $\overrightarrow{OP}=\frac{5}{3}s\cdot\frac{3}{5}\overrightarrow{OA}+\frac{2}{3}t\cdot\frac{3}{2}\overrightarrow{OB}$

$$\frac{3}{5}\overrightarrow{OA}=\overrightarrow{OC}, \frac{3}{2}\overrightarrow{OB}=\overrightarrow{OD},$$

$$\frac{5}{3}s=s', \frac{2}{3}t=t' \text{ とおくと}$$

$$\overrightarrow{OP}=s'\overrightarrow{OC}+t'\overrightarrow{OD}, s'+t'=1$$

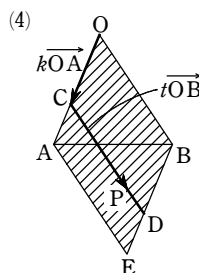
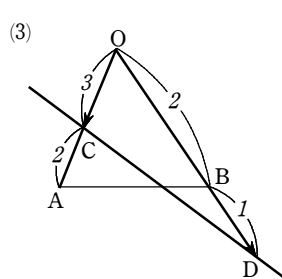
よって、点 P の存在範囲は図 (3) の直線 CD

(4) $s=k$ ($0\leq k\leq 1$) とおくと $\overrightarrow{OP}=k\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$

$$k\overrightarrow{OA}=\overrightarrow{OC}=\overrightarrow{BD} \text{ とおくと } \overrightarrow{OP}=\overrightarrow{OC}+t\overrightarrow{OB} \text{ (} 0\leq t\leq 1 \text{)}$$

よって、 P は図の線分 CD 上を動く。

更に、 k が 0 から 1 まで変化すると、 C は O から A まで動き、点 P の存在範囲は右の図の平行四辺形 $OAEB$ の周および内部。



2. 次の不等式を満たす領域を図示せよ。

- (1) $x+y=3, x\geq 0, y\geq 0$
- (2) $x+y\leq \frac{1}{3}, x\geq 0, y\geq 0$
- (3) $5x+2y=3$
- (4) $0\leq x\leq 1, 0\leq y\leq 1$

【解答】 (1) [図] 直線 $x+y=3$ の $0\leq x\leq 3$ の部分

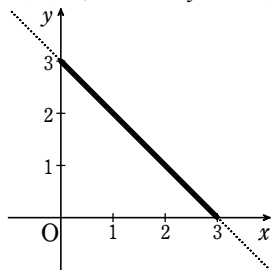
(2) [図] 斜線部分。境界を含む

(3) [図] 直線 $5x+2y=3$

(4) [図] 斜線部分。境界を含む

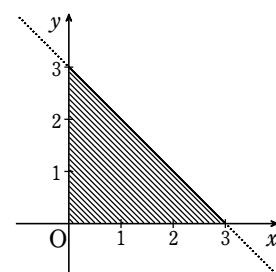
(1) $x\geq 0, y\geq 0$ より第 1 象限内 (軸上も含む) を考える。

したがって求める領域は、直線 $x+y=3$ の第 1 象限の中の部分 (軸上も含む)



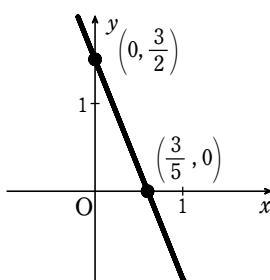
(2) $x\geq 0, y\geq 0$ より第 1 象限内 (軸上も含む) を考える。

また、 $x+y\leq 3$ より $y\leq -x+3$ なので、直線 $y=-x+3$ よりも下側の部分ゆえに、求める領域は図の斜線部分 (境界も含む)



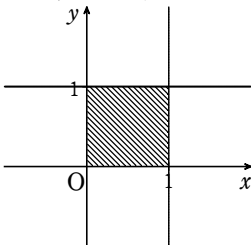
(3) $5x+2y=3$ より $y=-\frac{5}{2}x+\frac{3}{2}$ となる。

したがって、求める領域は図の直線



(4) $0\leq x\leq 1$ より 2 直線 $x=0$ と $x=1$ の間 (境界を含む) であり、かつ

$0\leq y\leq 1$ より 2 直線 $y=0$ と $y=1$ の間 (境界を含む) である部分なので、図の斜線部分である。ただし、境界を含む



3. 次の直線の方程式を求めよ。

(1) 点 $A(-1, 2)$ を通り、ベクトル $\vec{d}=(2, -3)$ に平行な直線

(2) 点 $A(4, 6)$ を通り、ベクトル $\vec{n}=(3, -4)$ に垂直な直線

【解答】 (1) $3x+2y=1$ (2) $3x-4y+12=0$

直線上の任意の点を $P(x, y)$ とする。

(1) $\overrightarrow{OP}=\overrightarrow{OA}+t\vec{d}$ から $(x, y)=(-1, 2)+t(2, -3)=(-1+2t, 2-3t)$

よって $x=-1+2t$ …… ①, $y=2-3t$ …… ②

① \times 3+② \times 2 から $3x+2y=1$

(2) $\overrightarrow{AP}=\vec{0}$ または $\overrightarrow{AP}\perp\vec{n}$ であるから $\vec{n}\cdot\overrightarrow{AP}=0$

ここで $\overrightarrow{AP}=(x-4, y-6)$

よって $3\times(x-4)-4\times(y-6)=0$

したがって $3x-4y+12=0$

4. 円 $(x-2)^2+(y-3)^2=25$ 上の点 $(5, 7)$ における接線の方程式を求めよ。

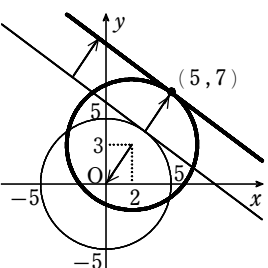
【解答】 $3x+4y=43$

円の中心 $(2, 3)$ と点 $(5, 7)$ を通る直線の傾きは $\frac{7-3}{5-2}=\frac{4}{3}$

求める接線は、この直線に垂直で、点 $(5, 7)$ を通るから、その方程式は

$$y-7=-\frac{3}{4}(x-5) \quad \text{すなわち} \quad 3x+4y=43$$

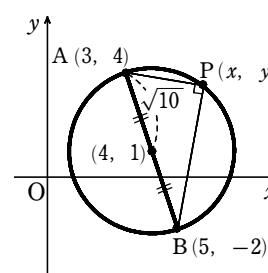
【別解】 円 $(x-2)^2+(y-3)^2=25$ …… ① を、
 中心 $(2, 3)$ が原点 $(0, 0)$ にくるように平行移動すると
 円 $x^2+y^2=25$ …… ②
 になる。
 この平行移動により、円 ① 上の点 $(5, 7)$ は点 $(3, 4)$ に移る。
 点 $(3, 4)$ における円 ② の接線の方程式は
 $3x+4y=25$ …… ③



求める接線は、③ を x 軸方向に 2, y 軸方向に 3 だけ平行移動したもので、その方程式は
 $3(x-2)+4(y-3)=25$ すなわち $3x+4y=43$

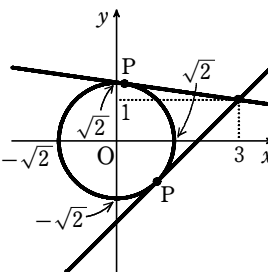
5. 2 点 $(3, 4)$, $(5, -2)$ を直径の両端とする円の方程式を求めよ。

【解答】 $(x-4)^2+(y-1)^2=10$
 この円の中心は、2 点 $(3, 4)$, $(5, -2)$ を結ぶ線分の
 中点であるから、その座標は $(4, 1)$
 半径 r は中心 $(4, 1)$ と円上の点 $(3, 4)$ との距離である
 から $r^2=(4-3)^2+(1-4)^2=10$
 よって、求める円の方程式は
 $(x-4)^2+(y-1)^2=10$



6. 点 $(3, 1)$ を通り、円 $x^2+y^2=2$ に接する直線の方程式を求めよ。

【解答】 $x+7y-10=0$, $x-y-2=0$
 接点を $P(x_1, y_1)$ とすると
 $x_1^2+y_1^2=2$ …… ①
 また、点 P におけるこの円の接線の方程式は
 $x_1x+y_1y=2$
 この直線が点 $(3, 1)$ を通るから
 $3x_1+y_1=2$ …… ②
 ①, ② から y_1 を消去して整理すると
 $5x_1^2-6x_1+1=0$



よって $(5x_1-1)(x_1-1)=0$ ゆえに $x_1=\frac{1}{5}, 1$

② に代入して $x_1=\frac{1}{5}$ のとき $y_1=\frac{7}{5}$, $x_1=1$ のとき $y_1=-1$

したがって、求める接線の方程式と接点の座標は
 $x+7y=10$, $(\frac{1}{5}, \frac{7}{5})$; $x-y=2$, $(1, -1)$

【別解】 1 点 $(3, 1)$ を通る接線は、 x 軸に垂直でないから、求める接線の方程式は、傾きを m とすると次のようにおける。
 $y-1=m(x-3)$ すなわち $y=mx-(3m-1)$ …… ③
 ③ を円の方程式に代入して整理すると
 $(m^2+1)x^2-2m(3m-1)x+9m^2-6m-1=0$ …… ④
 $m^2+1 \neq 0$ であるから、2 次方程式 ④ の判別式を D とすると
 $\frac{D}{4}=[-m(3m-1)]^2-(m^2+1)(9m^2-6m-1)$

$=-7m^2+6m+1=-(7m+1)(m-1)$
 円と直線 ③ が接するための条件は $D=0$
 よって $-(7m+1)(m-1)=0$ ゆえに $m=-\frac{1}{7}, 1$
 $m=-\frac{1}{7}$ のとき、④ の重解は $x=\frac{m(3m-1)}{m^2+1}=\frac{1}{5}$
 $m=1$ のとき、④ の重解は $x=1$
 したがって、求める接線の方程式と接点の座標は
 $y=-\frac{1}{7}x+\frac{10}{7}$, $(\frac{1}{5}, \frac{7}{5})$; $y=x-2$, $(1, -1)$

【別解】 2 **【別解】** 1 と 3 行目まで同じ)
 ③ から $mx-y-3m+1=0$ …… ⑤
 円の中心 $(0, 0)$ と接線の距離が円の半径 $\sqrt{2}$ に等しいから
 $\frac{|m \cdot 0 - 0 - 3m + 1|}{\sqrt{m^2 + (-1)^2}} = \sqrt{2}$
 両辺に $\sqrt{m^2+1}$ を掛けて $|-3m+1|=\sqrt{2(m^2+1)}$
 両辺を 2 乗して整理すると $7m^2-6m-1=0$
 よって $(7m+1)(m-1)=0$ ゆえに $m=-\frac{1}{7}, 1$
 $m=-\frac{1}{7}$ のとき、⑤ は $x+7y-10=0$ …… ⑥
 直線 OP は $y=7x$ と表されるから、⑥ と連立させて解くと、接点の座標は
 $(\frac{1}{5}, \frac{7}{5})$
 $m=1$ のとき、⑤ は $x-y-2=0$ …… ⑦
 直線 OP は $y=-x$ と表されるから、⑦ と連立させて解くと、接点の座標は
 $(1, -1)$

7. $x^2-7y^2+6xy-12x-4y+20$ を因数分解せよ。

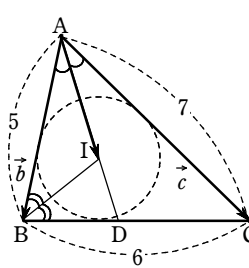
【解答】 $(x-y-2)(x+7y-10)$
 x の式とみても、 y の式とみても 2 次式なので、 x について降べきの順に整理する。
 $x^2-7y^2+6xy-12x-4y+20=x^2+(6y-12)x-(7y^2+4y-20)$
 $=x^2+(6y-12)x-(7y-10)(y+2)$
 $\begin{array}{rcl} 7 & \times & -10 \rightarrow -10 \\ 1 & \times & 2 \rightarrow 14 \\ \hline 7 & & -20 \quad 4 \end{array}$

また、全体を x の式とみて因数分解すると
 $\begin{array}{rcl} 1 & \times & -(y+2) \rightarrow -y-2 \\ 1 & \times & 7y-10 \rightarrow 7y-10 \\ \hline & & 6y-12 \end{array}$
 よって $x^2+(6y-12)x-(7y-10)(y+2)=\{x-(y+2)\}(x+(7y-10))$
 $=(x-y-2)(x+7y-10)$

8. $AB=5$, $BC=6$, $CA=7$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき、 \overrightarrow{AI} を \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。

【解答】 $\overrightarrow{AI}=\frac{7}{18}\vec{b}+\frac{5}{18}\vec{c}$

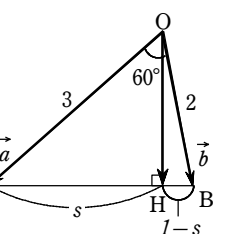
直線 AI と辺 BC の交点を D とすると
 AD は $\angle A$ の二等分線より
 $BD:DC=AB:AC$
 が成り立つ。よって、 $BD:DC=5:7$
 よって $\overrightarrow{AD}=\frac{7\overrightarrow{AB}+5\overrightarrow{AC}}{5+7}$
 $=\frac{7}{12}\vec{b}+\frac{5}{12}\vec{c}$



また $BD:DC=5:7$ より $BD=\frac{5}{5+7}BC=\frac{5}{12} \times 6=\frac{5}{2}$
 ゆえに $\triangle BDA$ において、 BI は $\angle DBA$ の二等分線より
 $AI:ID=BA:BD=5:\frac{5}{2}=2:1$
 よって $\overrightarrow{AI}=\frac{2}{2+1}\overrightarrow{AD}=\frac{2}{3}(\frac{7}{12}\vec{b}+\frac{5}{12}\vec{c})=\frac{7}{18}\vec{b}+\frac{5}{18}\vec{c}$

9. $\triangle OAB$ において、点 O から辺 AB へ垂線 OH を下ろす。 $OA=3$, $OB=2$, $\angle AOB=60^\circ$ であるとき、 $AH:HB$ を求めよ。

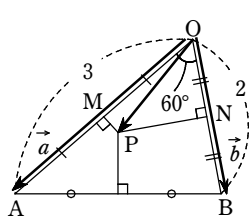
【解答】 $6:1$
 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ とする。 $AH:HB=s:(1-s)$ とすると
 $\overrightarrow{OH}=(1-s)\vec{a}+s\vec{b}$
 $OH \perp AB$ であるから $\overrightarrow{OH} \cdot \overrightarrow{AB}=0$
 よって $\{(1-s)\vec{a}+s\vec{b}\} \cdot (\vec{b}-\vec{a})=0$
 ゆえに $(s-1)|\vec{a}|^2+s|\vec{b}|^2+(1-2s)\vec{a} \cdot \vec{b}=0$
 ここで $|\vec{a}|=3$, $|\vec{b}|=2$,
 $\vec{a} \cdot \vec{b}=3 \times 2 \times \cos 60^\circ=3$
 よって $(s-1) \times 3^2+s \times 2^2+(1-2s) \times 3=0$



これを解いて $s=\frac{6}{7}$ したがって $AH:HB=\frac{6}{7}:(1-\frac{6}{7})=6:1$

10. $OA=3$, $OB=2$, $\angle AOB=60^\circ$ である $\triangle OAB$ において、その外心を P とする。 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ とするとき、 \overrightarrow{OP} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。

【解答】 $\overrightarrow{OP}=\frac{4}{9}\vec{a}+\frac{1}{6}\vec{b}$
 $\overrightarrow{OP}=s\vec{a}+t\vec{b}$ (s, t は実数) とおく。
 辺 OA , OB の中点をそれぞれ M , N とすると
 外心 P は各辺の垂直二等分線の交点であるので
 $PM \perp OA$, $PN \perp OB$
 よって $\overrightarrow{PM} \cdot \overrightarrow{OA}=0$, $\overrightarrow{PN} \cdot \overrightarrow{OB}=0$ …… ①



ここで $\overrightarrow{PM}=\overrightarrow{OM}-\overrightarrow{OP}=\frac{1}{2}\vec{a}-(s\vec{a}+t\vec{b})$
 $=(\frac{1}{2}-s)\vec{a}-t\vec{b}$
 $\overrightarrow{PN}=\overrightarrow{ON}-\overrightarrow{OP}=\frac{1}{2}\vec{b}-(s\vec{a}+t\vec{b})=-s\vec{a}+(\frac{1}{2}-t)\vec{b}$

① から $\{(\frac{1}{2}-s)\vec{a}-t\vec{b}\} \cdot \vec{a}=0$, $\{-s\vec{a}+(\frac{1}{2}-t)\vec{b}\} \cdot \vec{b}=0$
 ゆえに $(\frac{1}{2}-s)|\vec{a}|^2-t\vec{a} \cdot \vec{b}=0$, $-s\vec{a} \cdot \vec{b}+(\frac{1}{2}-t)|\vec{b}|^2=0$

ここで、 $|\vec{a}|=3, |\vec{b}|=2, \angle AOB=60^\circ$ であるから $\vec{a} \cdot \vec{b} = 3 \times 2 \times \cos 60^\circ = 3$

$$\text{よって} \quad 3^2 \cdot \left(\frac{1}{2} - s\right) - 3t = 0, \quad -3s + 2^2 \cdot \left(\frac{1}{2} - t\right) = 0$$

$$\text{整理すると} \quad 6s + 2t = 3, \quad 3s + 4t = 2 \quad \text{これを解いて} \quad s = \frac{4}{9}, \quad t = \frac{1}{6}$$

$$\text{したがって} \quad \overrightarrow{OP} = \frac{4}{9}\vec{a} + \frac{1}{6}\vec{b}$$

11. 点 P(4, 5) から直線 $\ell: x+2y=12$ に垂線を引き、その交点を H とする。

(1) ベクトルを用いて、点 H の座標を求めよ。

(2) 点 P と直線 ℓ の距離を求めよ。

$$\text{〔解答〕 (1) } \left(\frac{18}{5}, \frac{21}{5}\right) \quad (2) \frac{2\sqrt{5}}{5}$$

(1) 点 H の座標を (s, t) とする。

$\vec{n}=(1, 2)$ とすると、 \vec{n} は直線 ℓ の法線ベクトルであ

るから $\overrightarrow{PH} \parallel \vec{n}$

よって、 $\overrightarrow{PH} = k\vec{n}$ となる実数 k がある。

$$\text{ここで} \quad \overrightarrow{PH} = (s-4, t-5)$$

$$\text{ゆえに} \quad (s-4, t-5) = k(1, 2)$$

$$\text{よって} \quad s-4=k \quad \cdots \cdots \text{①}, \quad t-5=2k \quad \cdots \cdots \text{②}$$

$$\text{①} \times 2 - \text{②} \text{ から} \quad 2s - t = 3 \quad \cdots \cdots \text{③}$$

$$\text{また、点 H は直線 } \ell \text{ 上にあるから} \quad s+2t=12 \quad \cdots \cdots \text{④}$$

$$\text{③, ④ を解いて} \quad s = \frac{18}{5}, \quad t = \frac{21}{5}$$

$$\text{したがって、点 H の座標は} \quad \left(\frac{18}{5}, \frac{21}{5}\right)$$

$$(2) \quad \overrightarrow{PH} = \left(\frac{18}{5} - 4, \frac{21}{5} - 5\right) = \left(-\frac{2}{5}, -\frac{4}{5}\right)$$

点 P と直線 ℓ の距離は $|\overrightarrow{PH}|$ に等しいから

$$|\overrightarrow{PH}| = \sqrt{\left(-\frac{2}{5}\right)^2 + \left(-\frac{4}{5}\right)^2} = \sqrt{\frac{20}{25}} = \frac{2\sqrt{5}}{5}$$

〔注意〕 $\vec{a} = k\vec{b}$ (k は実数) のとき $|\vec{a}| = |k||\vec{b}|$ (両辺に絶対値をつけただけ)

これを利用して、 $\overrightarrow{PH} = -\frac{2}{5}(1, 2)$ であるから

$$|\overrightarrow{PH}| = \left| -\frac{2}{5} \right| \sqrt{1^2 + 2^2} = \frac{2\sqrt{5}}{5} \quad \text{と求めてもよい。}$$

12. 次の 2 直線のなす鋭角を求めよ。 $x-2y+4=0, 3x-y-3=0$

$$\text{〔解答〕} \quad \frac{\pi}{4}$$

$$x-2y+4=0 \text{ から} \quad y = \frac{1}{2}x + 2$$

$$3x-y-3=0 \text{ から} \quad y = 3x-3$$

図のように、2 直線が x 軸の正の向きとなす角を、

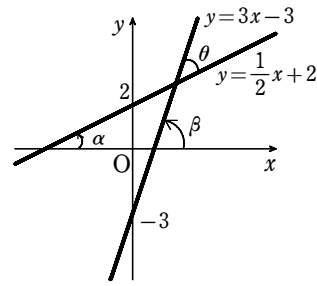
それぞれ α, β ($0 < \alpha < \frac{\pi}{2}, 0 < \beta < \frac{\pi}{2}$) とすると、

2 直線のなす鋭角 θ は、 $\beta - \alpha$ である。

$$\tan \alpha = \frac{1}{2}, \quad \tan \beta = 3 \text{ であるから}$$

$$\tan \theta = \tan(\beta - \alpha) = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = \frac{3 - \frac{1}{2}}{1 + 3 \cdot \frac{1}{2}} = 1$$

$$\text{よって、求める鋭角 } \theta \text{ は} \quad \theta = \frac{\pi}{4}$$



13. 正六角形 ABCDEF において、辺 AB, BC, CD, DE, EF, FA の中点をそれぞれ P, Q, R, S, T, U とする。△PRT の重心と △QSU の重心は一致することを証明せよ。

〔解答〕 略

点 A, B, C, D, E, F の位置ベクトルをそれぞれ $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}, \vec{e}, \vec{f}$ とし、

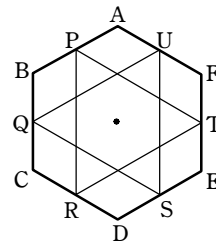
△PRT, △QSU の重心の位置ベクトルをそれぞれ \vec{g}_1, \vec{g}_2 とすると

$$\begin{aligned} \vec{g}_1 &= \frac{\overrightarrow{OP} + \overrightarrow{OR} + \overrightarrow{OT}}{3} = \frac{1}{3} \left(\frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} + \frac{\vec{c} + \vec{d}}{2} + \frac{\vec{e} + \vec{f}}{2} \right) \\ &= \frac{1}{6} (\vec{a} + \vec{b} + \vec{c} + \vec{d} + \vec{e} + \vec{f}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \vec{g}_2 &= \frac{\overrightarrow{OQ} + \overrightarrow{OS} + \overrightarrow{OU}}{3} = \frac{1}{3} \left(\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} + \frac{\vec{d} + \vec{e}}{2} + \frac{\vec{f} + \vec{a}}{2} \right) \\ &= \frac{1}{6} (\vec{a} + \vec{b} + \vec{c} + \vec{d} + \vec{e} + \vec{f}) \end{aligned}$$

$$\text{よって} \quad \vec{g}_1 = \vec{g}_2$$

したがって、△PRT の重心と △QSU の重心は一致する。



14. △ABC において、辺 AB を 3 : 1 に内分する点を D, 辺 AC を 2 : 3 に内分する点を E とし、線分 BE と線分 CD の交点を P とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{b}, \overrightarrow{AC} = \vec{c}$ とするとき、 \overrightarrow{AP} を \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。(2通りの方法で解くこと)

$$\text{〔解答〕} \quad \overrightarrow{AP} = \frac{9}{14}\vec{b} + \frac{1}{7}\vec{c}$$

BP : PE = $s : (1-s)$ とすると

$$\overrightarrow{AP} = (1-s)\overrightarrow{AB} + s\overrightarrow{AE} = (1-s)\vec{b} + \frac{2}{5}s\vec{c} \quad \cdots \cdots \text{①}$$

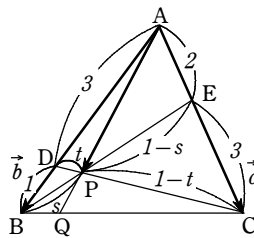
DP : PC = $t : (1-t)$ とすると

$$\overrightarrow{AP} = (1-t)\overrightarrow{AD} + t\overrightarrow{AC} = \frac{3}{4}(1-t)\vec{b} + t\vec{c}$$

$$\text{よって} \quad (1-s)\vec{b} + \frac{2}{5}s\vec{c} = \frac{3}{4}(1-t)\vec{b} + t\vec{c}$$

$\vec{b} \neq \vec{0}, \vec{c} \neq \vec{0}$ で、かつ \vec{b}, \vec{c} は平行でないから

$$1-s = \frac{3}{4}(1-t), \quad \frac{2}{5}s = t$$



$$\text{これを解いて} \quad s = \frac{5}{14}, \quad t = \frac{1}{7}$$

$$s = \frac{5}{14} \text{ を ① に代入して} \quad \overrightarrow{AP} = \frac{9}{14}\vec{b} + \frac{1}{7}\vec{c}$$

〔別解〕

BP : PE = $s : (1-s)$ とすると $\overrightarrow{AP} = (1-s)\overrightarrow{AB} + s\overrightarrow{AE} \quad \cdots \cdots \text{①}$ とおける。

$$\text{ここで} \quad \overrightarrow{AD} = \frac{3}{4}\overrightarrow{AB}, \quad \overrightarrow{AE} = \frac{2}{5}\overrightarrow{AC} \quad \text{より}$$

$$\overrightarrow{AB} = \frac{4}{3}\overrightarrow{AD}, \quad \overrightarrow{AE} = \frac{2}{5}\overrightarrow{AC} \quad \text{を ① に代入して}$$

$$\overrightarrow{AP} = (1-s) \cdot \frac{4}{3}\overrightarrow{AD} + s \cdot \frac{2}{5}\overrightarrow{AC} = \frac{4}{3}(1-s)\overrightarrow{AD} + \frac{2}{5}s\overrightarrow{AC} \quad \cdots \cdots \text{②}$$

となる。すると 点 P は直線 DC 上にあるから ② の係数について

$$\frac{4}{3}(1-s) + \frac{2}{5}s = 1$$

$$\text{が成り立つ。解いて} \quad s = \frac{5}{14} \quad \text{より} \quad \text{② に代入して} \quad \overrightarrow{AP} = \frac{9}{14}\vec{b} + \frac{1}{7}\vec{c}$$

15. △ABC と点 P について、等式 $2\overrightarrow{PA} + 3\overrightarrow{PB} + 4\overrightarrow{PC} = \vec{0}$ が成り立っている。直線 AP と辺 BC の交点を D とするとき、次のものを求めよ。(2通りの方法で解くこと)

(1) BD : DC

(2) AP : PD

(3) △PBC : △PCA : △PAB

$$\text{〔解答〕 (1) } 4 : 3 \quad (2) 7 : 2 \quad (3) 2 : 3 : 4$$

(1) $2\overrightarrow{PA} + 3\overrightarrow{PB} + 4\overrightarrow{PC} = \vec{0}$ から

$$-2\overrightarrow{AP} + 3(\overrightarrow{AB} - \overrightarrow{AP}) + 4(\overrightarrow{AC} - \overrightarrow{AP}) = \vec{0}$$

$$\text{よって} \quad \overrightarrow{AP} = \frac{3\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{9} = \frac{7}{9} \cdot \frac{3\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{7} = \frac{7}{9} \cdot \frac{3\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{4+3}$$

$$\text{ゆえに、} \quad \overrightarrow{AD} = \frac{3\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{4+3} \quad \text{より} \quad \text{BD : DC} = 4 : 3$$

$$(2) (1) \text{ から} \quad \overrightarrow{AP} = \frac{7}{9}\overrightarrow{AD} \quad \text{よって} \quad \text{AP : PD} = 7 : 2$$

〔別解〕

A, B, C, P の位置ベクトルをそれぞれ $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{p}$ とする。

$$2\overrightarrow{PA} + 3\overrightarrow{PB} + 4\overrightarrow{PC} = \vec{0} \text{ から} \quad 2(\vec{a} - \vec{p}) + 3(\vec{b} - \vec{p}) + 4(\vec{c} - \vec{p}) = \vec{0}$$

$$\text{よって} \quad \vec{p} = \frac{2\vec{a} + 3\vec{b} + 4\vec{c}}{9} = \frac{2\vec{a} + 7 \cdot \frac{3\vec{b} + 4\vec{c}}{7}}{9}$$

$$\text{より、} \quad \vec{d} = \frac{3\vec{b} + 4\vec{c}}{7} \quad \text{とおくと、} \quad \vec{d} \text{ は D の位置ベクトルより} \quad \text{BD : DC} = 4 : 3$$

$$\text{また、} \quad \vec{p} = \frac{2\vec{a} + 7\vec{d}}{9} \quad \text{より} \quad \text{AP : PD} = 7 : 2$$

(3) $\triangle PBD : \triangle PCD = BD : DC = 4 : 3$

よって、 $\triangle PBD = 4S$, $\triangle PCD = 3S$ とおくと

$$\triangle PBC = \triangle PBD + \triangle PCD = 4S + 3S = 7S$$

また $\triangle PCA : \triangle PCD = AP : PD = 7 : 2$

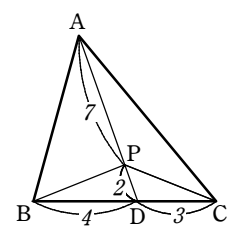
$$\text{ゆえに} \quad \triangle PCA = \frac{7}{2} \triangle PCD = \frac{7}{2} \times 3S = \frac{21}{2} S$$

更に $\triangle PAB : \triangle PBD = AP : PD = 7 : 2$

$$\text{よって} \quad \triangle PAB = \frac{7}{2} \triangle PBD = \frac{7}{2} \times 4S = 14S$$

$$\text{したがって} \quad \triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB = 7S : \frac{21}{2} S : 14S = 2 : 3 : 4$$

参考 $\triangle ABC$ の面積を S とおいてもよい。



16. $\triangle OAB$ において、辺 OA を $2 : 3$ に内分する点を C 、線分 BC を $2 : 1$ に内分する点を D とし、直線 OD と辺 AB の交点を E とする。このとき、 $OD : DE$ を求めよ。**(2通りの方法で解くこと)**

解答 $3 : 2$

$CD : DB = 1 : 2$ であるから

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OD} &= \frac{2\overrightarrow{OC} + 1 \cdot \overrightarrow{OB}}{1+2} = \frac{2}{3} \cdot \frac{2}{5} \overrightarrow{OA} + \frac{1}{3} \overrightarrow{OB} \\ &= \frac{4}{15} \overrightarrow{OA} + \frac{1}{3} \overrightarrow{OB} \end{aligned}$$

点 E は直線 OD 上にあるから、 $\overrightarrow{OE} = k\overrightarrow{OD}$ となる実数 k がある。

$$\text{よって} \quad \overrightarrow{OE} = k \left(\frac{4}{15} \overrightarrow{OA} + \frac{1}{3} \overrightarrow{OB} \right) = \frac{4}{15} k \overrightarrow{OA} + \frac{k}{3} \overrightarrow{OB}$$

$$\text{点 } E \text{ は直線 } AB \text{ 上にあるから} \quad \frac{4}{15} k + \frac{k}{3} = 1 \quad \text{したがって} \quad k = \frac{5}{3}$$

$$\text{よって、} \overrightarrow{OE} = \frac{5}{3} \overrightarrow{OD} \text{ であるから} \quad OD : DE = 3 : 2$$

別解

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OD} &= \frac{4}{15} \overrightarrow{OA} + \frac{1}{3} \overrightarrow{OB} = \frac{4}{15} \overrightarrow{OA} + \frac{5}{15} \overrightarrow{OB} \\ &= \frac{4\overrightarrow{OA} + 5\overrightarrow{OB}}{15} = \frac{9}{15} \cdot \frac{4\overrightarrow{OA} + 5\overrightarrow{OB}}{9} \end{aligned}$$

$$\text{より} \quad \overrightarrow{OE} = \frac{4\overrightarrow{OA} + 5\overrightarrow{OB}}{9} \quad \text{より} \quad AE : EB = 5 : 4 \text{ であり}$$

$$\overrightarrow{OD} = \frac{9}{15} \overrightarrow{OE} \quad \text{つまり} \quad \overrightarrow{OD} = \frac{3}{5} \overrightarrow{OE} \quad \text{より} \quad OD : DE = 3 : 2$$

17. $AB=1$, $AC=2$ である $\triangle ABC$ がある。辺 BC を $2 : 1$ に内分する点を P 、線分 AP を $2 : 3$ に内分する点を Q とすると、 $\overrightarrow{BQ} = \text{ア} \overrightarrow{AB} + \text{イ} \overrightarrow{AC}$ である。

$$\text{更に、} \overrightarrow{BQ}, \overrightarrow{AP} \text{ が直交するとき、} \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = \text{ウ} \text{ となり、} \cos \angle BAC = \text{エ} \text{}$$

である。

解答 (ア) $-\frac{13}{15}$ (イ) $\frac{4}{15}$ (ウ) $\frac{19}{22}$ (エ) $\frac{19}{44}$

$$\overrightarrow{AP} = \frac{1 \cdot \overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}}{2+1} = \frac{\overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}}{3} \text{ であるから}$$

$$\overrightarrow{AQ} = \frac{2}{5} \overrightarrow{AP} = \frac{2}{5} \left(\frac{\overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}}{3} \right) = \frac{2\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{15}$$

$$\text{よって} \quad \overrightarrow{BQ} = \overrightarrow{AQ} - \overrightarrow{AB} = \frac{2\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{15} - \overrightarrow{AB}$$

$$= \text{ア} - \frac{13}{15} \overrightarrow{AB} + \text{イ} \frac{4}{15} \overrightarrow{AC}$$

$$\overrightarrow{BQ} \perp \overrightarrow{AP} \text{ のとき} \quad \overrightarrow{BQ} \cdot \overrightarrow{AP} = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad \left(-\frac{13\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}}{15} \right) \cdot \left(\frac{\overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}}{3} \right) = 0$$

$$\text{よって} \quad (-13\overrightarrow{AB} + 4\overrightarrow{AC}) \cdot (\overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}) = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad -13|\overrightarrow{AB}|^2 - 22\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} + 8|\overrightarrow{AC}|^2 = 0$$

$$|\overrightarrow{AB}| = 1, |\overrightarrow{AC}| = 2 \text{ であるから} \quad -13 \cdot 1^2 - 22\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} + 8 \cdot 2^2 = 0$$

$$\text{よって} \quad \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = \text{ウ} \frac{19}{22}$$

$$\text{したがって} \quad \cos \angle BAC = \frac{\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}}{|\overrightarrow{AB}| |\overrightarrow{AC}|} = \frac{19}{22} \div (1 \times 2) = \text{エ} \frac{19}{44}$$

